

シンポ薬局 社長
クロモンコスメティック
営業本部長

廣橋 一晃



クロモンコスメティック
取締役社長
第五回国民的美魔女コンテスト
ファイナリスト

中山 秀子



事業を通じて 「健康と美」を創出し、 社会へ貢献していく

オンリーワンのスッポンコラーゲン化粧品「スペリオルワン」を展開する『クロモンコスメティック』。同商品を全国の調剤薬局で唯一取り扱っているのが、大阪府枚方市にある『シンポ薬局』だ。俳優の村野武範氏が、両社を率いる中山社長と廣橋社長に事業に懸ける想いを伺った。

★★★

——早速ですが、『シンポ薬局』さんは長い歴史をお持ちだと伺いました。

(廣) 当局は1954年に父が創業して以来、地域の皆様と共に歩んできました。私は父の背中を見て育ち、「将来自分も薬局を手掛けたい」という想いで『近畿大学』薬学部に進学したんです。その後、『武田薬品工業』に就職し、全国の拠点でキャリアを蓄積。営業所長などの役職を勤めた後、両親の病気を機に早期退職しましてね。それから父の跡を受けて家業を継ぎ、現在に至ります。製薬会社で培った知識やノウハウを活かし、長年地域や社会に貢献してきた父の遺志を守りながら事業を推進しています。私共は在

宅医療を強化するという国の政策が進められる以前から、地域の在宅訪問サービスに力を入れているんですよ。

——地域に根差した薬局として信頼を集めておられることが窺えます。中山社長はこれまでどのような道を歩まれて？

(中) 私は20数年にわたって、看護師として地域医療に携わってきました。患者さんのためにとこなしてきた日々のハードワークが祟ったのか、40歳を過ぎたころから気づけばお肌がボロボロになってしまったんです。肌に良いものといえばコラーゲンというイメージがあり、コラーゲンの入った高価な化粧品をいくつも試しましたが、納得するものには出会えませんでした。そんな時、“大阪の台所”と言われる「黒門市場」のある老舗鮮魚店で出会ったのが「スッポン」。スッポンの甲羅の縁の部分(エンペラ)は、最高級コラーゲンの塊だということを知り、「スッポンのコラーゲンで化粧品を作れないか」と考えたんです。それで鮮魚店とタッグを組み、『近畿大学』薬学部の多賀教授とのご縁により同大学にもご協力いただき、誕生したのがスッポンコラーゲン化粧品「スペリ

オルワン」。ジェルエッセンスや洗顔石鹸、化粧水など女性に必要なスキンケアアイテム6種類をラインナップしています。販売開始後口コミを中心に人気を呼び、お陰様で6年間で累計20万個を販売させていただいています。

——化粧品に使用するスッポンにもこだわっておられるのでしょうか。

(中) 実は『静岡県立焼津水産高校』の生徒さんが、抗生物質も農薬も一切使わず、通常の約2倍の2年がかりで手間隙かけて育てたスッポンなんです。安心・安全なスッポンの厳選した部位だけを使用し、『近畿大学』のご協力で高純度のコラーゲンを抽出しているんですよ。

——まさに鮮魚店と大学、そして高校生の叡智と情熱の結晶ですね。

(廣) 中山社長は現役の近大生でもあり、『近畿大学』の交流会でのご縁をきっかけに、全国の調剤薬局の中で唯一当局がスペリオルワンを取り扱わせていただくようになりました。多くのお客様にご好評いただいております。今後も商品の魅力を発信することで地域の方々の健康や美に貢献できたらと考えています。

(2019年7月取材)

シンポ薬局

大阪府枚方市禁野本町1丁目8-14

株式会社 クロモンコスメティック

【本社】大阪府大阪市中央区日本橋1-21-8

URL: <http://www.kuromon-cosmetic.jp>

interviewer: 村野 武範

中山社長が「儲けよりも社会のために貢献したい」と力強く語っていただいたのが印象的でした。廣橋社長のお父様が貫いてこられた地域社会への貢献に対する信念にも通ずるところがあり、不思議なご縁を感じますね。

